

西東京市「まちづくり若者サミット」進捗報告

1. これまでの検討状況及び今後の流れ

開催予定・実績	内 容
第 4 回（平成 30 年 1 月 16 日）	取組アイデアについての検討①
第 5 回（平成 30 年 2 月 27 日）	取組アイデアについての検討② 事業の内容や効果についての整理
第 6 回（平成 30 年 4 月 19 日）	事業内容の最終的な整理（担い手・役割、費用、スケジュールなど）
第 7 回（5 月頃）	まちづくり市民シンポジウムに向けた発表準備
第 8 回（5 月頃）	まちづくり市民シンポジウム
第 9 回（8 月頃）	後期基本計画への反映について 事業の実施に向けた検討

2. 第 4 回・第 5 回の意見（検討内容）

(1) 取組アイデアについての検討①

Aグループ	Bグループ
① 地元野菜や東大農場を活用したヘルシーなカフェづくり ② 多世代が楽しめる公園づくり ③ 「アート」「みどり・花」によるまちの魅力づくり ④ 都心の博物館と連携した展示会 ⑤ 田無 V S 保谷キャンペーン など新宿線対池袋線で沿線対決 ⑥ 「日本に一つの〇〇」をつくる ⑦ 地域をめぐる人の組み合わせで面白く PR ⑧ 人が見ていることでまちをよくする =リタイア世代による歩きタバコパトロール等 ⑨ ニッチな魅力がわかる人に来てほしい ⇒①～③を一体的に取り組む。	【強みを活かす取組アイデア】 <ul style="list-style-type: none"> • アクセスの良さをアピール • 南北の動線をつくる • 市外の人に来て楽しめる飲食店の通り • 市内マラソン大会など家族の余暇の場 • 駅近に大学を誘致 • 多世代が体を空を動かせる公園 • 一体感のあるイルミネーション 【弱みを改善するアイデア】 <ul style="list-style-type: none"> • 市のキャラクターで PR • 焼却炉を買う • 市内バスの本数を増やす（ワゴン活用） • ロゴ、決まり文句、統一モチーフで「ここは西東京」 • 道の駅 わかりやすい販路 • 名物をつくる、宣伝

(2) 取組アイデアについての検討②

Aグループ	Bグループ
<p>「健康」「ヘルシー」をキーワードに、西東京市の強みである自然を活かして、非日常・あこがれの要素を作り出す。</p> <p>活動場所として、まずはいこいの森公園を想定</p> <p>① 地元野菜や東大農場を活用したヘルシーなカフェづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 多品目の地元野菜・フルーツを自分で組み合わせる 東大とコラボすることで科学的根拠のある頭がよくなるメニューを提供 カフェの売上げの一部を②の活動費に充てる <p>② 多世代が楽しめる公園づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> おしゃれなカフェ (①) がある (子連れで公園を使う場合の休憩の場としても必要) 野外映画 (昼・夜)、脱出ゲーム、オクトーバーフェスト、自然の中の図書館、マルシェ月間、健康月間、青空ヨガ、などのイベントを開催 ⇒毎日何かイベントをやっている状態、市民主体でのイベントを運営 <p>③ アート・みどり・花による魅力づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的なコンテンツ案 ⇒アーティスト作品、岩盤浴、足湯 (ストーリー)、共通するテーマのものを市内にちりばめる、みどり・花 駅からいこいの森公園への誘導に活用できないか 	<p>前回の取組案を具体化し、グループに分類</p> <p>【時間・空間の共有=わ (その1)】</p> <ul style="list-style-type: none"> フェスができるような広場と広場に面した商業施設 駅前に娯楽施設をつくる 夜市 商店街をおもしろくし、学生をとりこむ おしゃれにランチできる場所 遊具のある広場、池・芝生のある公園 <p>【時間・空間の共有=わ (その2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> いこいの場のある図書館をつくる 映画館をつくる 地域コミュニティのグループをつなげる <p>【西東京市のPR】</p> <ul style="list-style-type: none"> いこいなグッズを拡販 コラボ列車 西東京市発見ツアー